



**フェリス女学院大学 エコキャンパス研究会が
「第33回全国都市緑化よこはまフェア」に360°花壇を出展！
花壇のデザイン～花苗の育成～施工～管理を学生たちが担当しています**

フェリス女学院大学（神奈川県横浜市／学長：秋岡 陽）エコキャンパス研究会では、3月25日（土）から6月4日（日）まで「第33回全国都市緑化よこはまフェア」に花壇を出展しています。「しあわせ運ぶフラワーケーキ」をコンセプトに同研究会に所属する学生たちが花壇のデザイン～花苗の育成～施工～管理までを一貫して担当。総計1,124株の花苗を使用し、360°どこから見ても楽しめる立体花壇に仕上がっています。

1983年から毎年全国各地で開催されている花と緑の祭典「全国都市緑化フェア」が、今回初めて横浜で開催。「第33回全国都市緑化よこはまフェア」（主催：横浜市、公益財団法人 都市緑化機構）として、「歴史と未来の横浜・花と緑の物語」をテーマに、美しい花と緑豊かなまち 横浜の実現を理念に、横浜を代表する人気スポットが約100万本の花で賑やかに彩られています。

本フェアでは、フェリス女学院大学エコキャンパス研究会（指導教員：佐藤輝教授 部員：35名）がナチュラルガーデンエリア（みなとガーデン新港中央広場）に「しあわせ運ぶフラワーケーキ」をコンセプトにした立体花壇を出展しています。昨年11月から学生たちの手で育てられてきたチューリップや花期を迎えた花苗を総計1,124株（植え替え分を含む）ケーキ型の花壇に配置。フェリスのスクールカラーである赤白黄が印象的な、360°どこから見ても楽しめる立体花壇に仕上がっています。

学生たちが花壇のデザイン～花苗の育成～施行～管理までを一貫して担当している今回の出展は、学生たちにとって街の緑の大切さを認識し、エコについて学びを深める機会となっています。

<ケーキ型の花壇ができるまで>



① 11月～チューリップの栽培開始



② 花壇の枠組みづくりと塗装



③ 枠組みを重ねてケーキの形に



④ 360° 楽しめる立体花壇の完成

<エコキャンパス研究会について>

国際交流学部、文学部、音楽学部の学生 35 名が所属する学内団体。キャンパスおよび国内外において文系の女子大学生だからこそできる環境活動をとおして、弱者（子どもたちや発展途上国）のためにも良好な地球環境を残していくことを目的として 2002 年に設立されました。多くの専門家と協力しながら、自然保護（ビオトープづくり）や地球温暖化対策（再生可能エネルギーの調査、子どもへの環境教育）活動をはじめ、ゴミ削減、地産地消や地域活性化にむけた活動等、多岐にわたる取り組みを行っています。指導教員：佐藤輝教授

[おもな受賞歴]

- 2004 年 第 2 回全国大学生環境活動コンテストで入賞
- 2009 年 第 1 回エコ大学ランキング私立大学 1 位
- 2012 年 第 4 回エコ大学ランキングで総合 2 位
- 2012 年 第 2 回横浜学生環境活動コンテスト ハマコン 2012 最優秀賞
- 2013 年 第 3 回横浜学生環境活動コンテスト ハマコン 2013 最優秀賞
- 2017 年 第 6 回毎日地球未来賞にて次世代応援賞
- 2017 年 第 7 回横浜学生環境活動コンテスト ハマコン 2017 最優秀賞
- 2017 年 第 24 回横浜市環境活動賞（学校部門）大賞

<「第 33 回全国都市緑化よこはまフェア」概要>

開催期間： 2017 年 3 月 25 日（土）～6 月 4 日（日）

主 催： 横浜市、公益財団法人 都市緑化機構

会 場： みなとガーデン（都心臨海部会場）

〔山下公園、グランモール公園、港の見える丘公園、横浜公園、日本大通り、象の鼻パーク、新港中央広場、運河パーク〕

里山ガーデン（郊外部会場）

〔横浜動物の森公園植物公園予定地〕

※フェリス女学院大学エコキャンパス研究会は、みなとガーデン 新港中央広場にて出展中。4 月 27 日（木）午前に花苗の植え替えを予定。